

支部の皆さんと一緒に  
良い交流ができました!



大阪新婦人の方々の感想

福島のお米は美味しい。  
コロナで途絶えた直接の交流会ができて良かった。  
産直米が安いことを知った。取組みを知らなければ知るほど産直運動を広めたいと思った。  
戦争孤児、食べるのにも生きるのにも辛かった。あの頃に戻りそうな今の状況が怖い。  
日本の農政に怒りを感じる。  
新婦人は農家を支援続けたい。  
輸入が増えているのはスーパーで買物をしていても物凄く実感する。  
新規就農者をもっと増えるよう支援が必要だと思う。  
暗い話が多い中で、若い人の未来の話に励まされた。

福島からの参加者の感想

農業者として皆さんに支えられてきているのだと有難く思った。より一層頑張れる機会になった。  
産直米提携の重要さを改めて感じた。  
産直米を安心して美味しく食べていると聞けて嬉しかった。  
食糧危機に対する不安感、現実感がじわじわ高まった気がする。  
震災から必死に立ち上がる福島農家を応援してください。  
福島への思いが強くなる関係が続くようにしたい。  
期待に応えられるよう頑張ろうと思った。  
大阪新婦人の方々が温かく迎えて下さって嬉しかった。  
たくさん交流することができて良かった。



# いのちをつなぐ「食と農」 産直運動交流会 in 大阪

6月5日～8日(8日はオンラインで開催)大阪新婦人の皆さんとの産直交流会が開催されました。福島から24名、大阪から4名、石川から5名が参加し、55支部113ヶ所で交流会が開かれました。リアルでの開催は5年ぶり!

今回福島からは初めての参加者も多く緊張の面持ちでいました。いざ会場へ行ってみると新婦人の皆さんに温かく迎えていただき、和やかな雰囲気での交流することができました。直接顔を見ながら話をして、改めて食べる人と作る人の共同の産直運動で日本の農業と食を守りたい!と気持ちがひとつになりました。



参加者全員で記念撮影

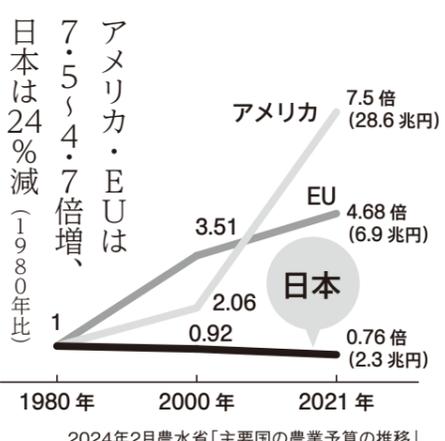
進む食料危機

現在日本の食料自給率は38%まで低下していますが、種子・肥料・燃料などは輸入に頼っているため、実際の自給率は10%程度です。  
また食料・農業・農村基本法の改定では、軍事費を上げて農業予算を減らし、食料自給率目標を放棄しています。さらに有事には芋を作るよう命令し、価格統制や配給制を行う有事食糧法を食料供給困難事態の対策としてあげて、戦争する国づくりを突き進んでいます。  
農業予算が減ることで農家人口も減り、令和3年の米農家の時給は平均して10円。お米を作って生活していくのが大変厳しい状況です。  
そのような中、アメリカやEUでは農業予算を倍増しており、青年に対する就農支援も進んでいます。国は自給率の向上、価格・所得補償、青年就農支援を放棄する農業基本法の改定は撤廃し、今すぐ食と農の再生に役立つ政策への転換が求められます。



万博中止バッジを持って支部を周りました。

主要国の農業予算の推移



交流会の様子  
食料自給率や日本の農業の現状について話し合いました。



農民連フラッシュ flash

福島県農民連青年部総会 in ざおうハーブ

6月20日、県農民連青年部総会を宮城県蔵王町にあるざおうハーブで行いました。部員の近隣の青年と交流がしたいとの声から、総会企画として、ざおうハーブの平間拓也さん、徹也さん兄弟に圃場見学や苗販売についてお話を伺いました。昼食は平間兄弟手製のバーベキューいただき交流しました。



小麦収穫

(株)会津産直センターの小麦収穫が行われました。今年は梅雨入りが遅く、雨に悩まされることなく収穫を終えました。昨年収穫した小麦はそうめん加工し販売しています。会津で小麦栽培に取り組んでいる若手生産者の応援、国産小麦の自給率向上につながりますので、ぜひ右のオンラインストアからお買い求めください。



オンラインストア商品紹介

福島県会津産小麦 100%  
そうめん ※売切れ次第終了です!

小麦のわが国の自給率はわずか15%。その貴重な福島県会津産小麦の良質な部分のみを丁寧製粉し100%使用したそうめんです。豊かなコシとつるつとした食感をぜひ楽しみ下さい。これからの季節におすすめです!



オンラインストアから購入できます

